

協働通信

都留の市民の活動

Vol.6 四日市場 椿組常会

都留第二中学校グラウンドで行われている小正月のお祭りについて、椿組常会長の吉澤政次さんにお話しを伺いました



■椿組常会長 吉澤政次さん

ここでは、20年ぐらい前から毎年、月見ヶ丘育成会、富士見台育成会、椿組常会の三つが共同でやっています。

そもそもここは新しい住宅地で、道祖神もなく小正月の祭りもなかったのですが、ふるさとのまちをつくらうと、東桂の梵天を参考にさせていたいただいたりしながら始めたものです。中学校の協力を得てグラウンドを借り、当日は、各自自治会の支援で育成会が甘酒やおでんを振る舞い、「サークル笛の音」の子ども達が太鼓を叩いてお祭りを盛り上げています。今年はずも達がまゆ玉や飾り作りを行

▼都留市まちづくり
市民活動支援
センター
都留市上谷2-1-15
都留市役所
新町別館1階
▼開館
月～金(祝日除)
8:30～17:15
▼問い合わせ先
mail: shien@city.
tsuru.yamanashi.jp
☎(46)5236
FAX (46)5237

ました。今の子どもはまゆ玉を知らないし、親たちも作れないので、一緒に作ろうということでもみんなで作りました。

世代や地域を超えた交流がなくなってきたと聞きます。私はお祭りなどの行事も、大人と子ども、組や自治会を超えた交流によって、絆やつながりをつくる大切な機会だと思っています。お互いが分かりあいながら、いざとなった時に隣り同士が助け合ったり、声を掛け合ったりできるような地域づくりをしていきたいと思っています。



Vol.7 田屋祭世話

鹿留(沖)の小正月のお祭りについて田屋地区の祭世話、佐藤好尚さんにお話しを伺いました。



■田屋祭世話 佐藤好尚さん

祭世話は地区の中で順にまわってきますが、小正月のお祭りが最初で、年4回のお祭りを取り仕切ります。お祭りには、たくさんの人達が集まって助けてくれるので、私も一生懸命に尽くそうと思っています。

この小正月のお祭りは、大野橋の両端に、川向この砂原地区が女、田屋と大野地区が男の塞の神さん(梵天)を立てます。男と女の塞の神を立てるのは珍しいと思いますが、夫婦円満、子孫繁栄を願ったものと思います。女神には紅白、男神には8色の色紙を飾ります。各戸から持ち寄った「ヒイチ(三角形の袋状に縫った飾り)」



■田屋・大野地区の塞の神。8色の色紙やヒイチで飾られ、高さは約20mもある。

も大小様々なものを付けます。飾り付けが終わったら、御神木を肩で担いだり、網で引っ張ったりして立てるんです。今年も無事に立てることができました。

塞の神さんの脇には、杉や松の枝などを高く積み上げ山にして、その中に正月飾りなどを入れ、14日の19時頃に火を付け、「どんど焼き」をします。子ども達は団子を焼いて一年間の健康を祈ります。昔は、どんど焼きの煙の向く方向で豊作を占ったそうです。川下の方へ煙が向くと豊作、川上は不作。川下の方へ流れていくことが多いですね。

最近若い人が働きに出ていて、人集めも大変ですが、今後もこの行事を絶やさぬようにしたいと思います。

地域のお知らせ!

谷村地域 夢実現ひろば 「日本と世界の衣装を着てみよう」
2月23日(木)13時30分～15時30分
文化会館1階